

令和5年度阿久根市立脇本小学校経営基本構想

【学校の実態】

子供の姿

学校の特色

教師の願い

保護者の願い

地域の願い

【県教育振興基本計画基本目標】

夢や希望を実現し未来を担う鹿児島の人づくり
～あしたをひらく心豊かでたくましい人づくり～



【市の教育未来ビジョン：教育目標】

主体的に学び社会とかかわり未来を創るひとづくり

【脇本らしい教育の展開】

経営基調

公教育の立場と関係法令や学習指導要領の趣旨及び県・地区・市の教育施策を踏まえ、人権尊重の理念に則り、郷土の教育的な歴史や伝統を生かしながら、子供に確かな学力と豊かな心、たくましい体力を育成する責任ある教育を展開する。

校訓

かしこく(知) なかよく(徳) たくましく(体)

教育目標

学ぶ楽しさを知り、確かな学力と思いやりの心、自律・自製の心を身に付け、心身ともに健康でたくましい子供の育成
～夢の実現のために、共に学び、共に笑い、共に挑み続けようとする脇本っ子～

① 目指す子供像

(学校教育目標を達成した子供の姿)

・確かな学力 ・思いやりと自律・自製の心 ・たくましい体 ・協力する態度

② 目指す学校像

(全職員でつくりあげていく学校の姿)

美しさと秩序があり、歴史と伝統を重んじる学校
子供の充足感が満たされ、思いやりと感動がある学校

③ 目指す教師像

(日々の教育活動に見る職員の姿)

教育愛に燃え、子供の学力定着と生きる力の育成に職責感を発揮する教師
郷土愛と使命感をもち、地域の信頼に応える教師

④ 期待される家庭像

(目指してほしい家庭の姿)

耐える力と豊かな心を育む、安息の場のある家庭
社会のルールや好ましい生活リズムを身に付けさせる家庭

【経営の基本方針】

基盤

1 子供と向き合い、豊かな心をはぐくむ教育活動の実践

「人権教育は全ての教育の基本」とする人権教育を基盤とした学校づくり
豊かな心と自律・自製の心を育む特別な教科「道徳」と体験活動、読書活動の充実
子供と向き合う時間の確保と健全な環境づくりのための業務改善 1 Action・1 Try の設定・実践

2 確かな学力を保証し、実力を発揮できる技術・気力・体力を身に付けさせる教育活動の展開

「個別最適学習」と「協働的な学び」による確かな学力を育てる指導方法改善研究の実践
作品づくりや自己記録更新に挑戦し、実力を発揮できる技術・気力・体力を付けさせる指導力向上

3 信頼を確立し、学校運営協議会や地域住民が支援する「地域とともにある学校」づくりの推進

子供たちを教え導く専門職として範を示し、学び続けることのできるチーム脇本小学校職員
地域との連携に喜びを感じ、地域の環境や歴史を生かす豊かな人間性をもつチーム脇本小学校職員

重点実践事項

1 確かな学力の定着

- 主体的・対話的で深い学びにより活用力と学びに向かう力を伸ばす地区の「授業づくり3ポイント」やテーマ研修内容の共通実践、ICTの積極的活用等による多様な学びの指導方法改善の研究
- 教科書音読や読み・書き・計算などの基礎学力定着を目指す指導の継続及び教科等の指導計画や日課表など学校生活リズムの充実・改善を含むカリキュラム・マネジメントの実践
- 学びの確かな定着と省察(リフレクション)を促す指導過程終末における「脇本タイム」の確実な実施及び訂正、再挑戦、学び方の振り返りなどの見届け及び学習歴保存・活用の徹底
- 小中一貫教育、一部教科担任制の導入等、指導体制と指導方法の工夫による学力向上

2 豊かな心とたくましい体の育成

- いじめや不登校の未然防止、早期発見・早期解消、継続指導と道徳教育、体験、読書活動の充実
- 「一校二運動」(朝のかけ足、なわとび運動)、「一家庭一運動」の推進と個に応じた指導の実践
- 健康教育の推進(食に関する指導、歯と口の健康づくりの推進、新生活様式での感染症予防)

3 基本的な生活習慣の確立

- 「脇本っ子見届け週間」による生活時間見直しと、家庭と連携した自立・自製の心を育む教育実践

4 郷土のよさを生かした特色ある学校づくり

- 郷土素材や地域人材を活用した脇本小自慢の充実と情報発信・姉妹校：北海道えりも小との交流

5 教職員の資質向上と信頼される学校づくり

- 教職員としての資質向上と業務改善に取り組み、信頼される「地域とともにある学校」づくり
- 小中一貫教育導入のための小・中(脇本小、折多小、三笠中)教員による合同研修会の実施

キャッチフレーズ

「夢や希望を語り合える脇本小」「根気強くチャレンジする脇本小」

令和5年度学校経営上の課題と具体策

学年 学級 経営	<p>1 学校教育目標の具現化に向けた、カリキュラム・マネジメントの実践</p> <p>2 学校生活の基盤となる学習環境づくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校経営の基本構想による学年経営案の作成、実践、評価、改善 ○ 本校キャッチフレーズの意識化及び具体化、学級目標に対する個人目標の設定 ○ 特別支援教育の視点に立った誰もが学びやすい学習環境の整備 ○ 学級経営ビジョンや子供の発意・発想を基にした教室環境の整備 ○ 教室環境の保全・管理（安全点検、机や椅子調整、校訓・校歌・生活目標等の学校・学年部共通の掲示、教室設営の共通理解等）
学 習 指 導	<p>1 一人一人の子供の学力・学習状況に応じた学習指導の改善・充実及び確かな学力の定着 「対話活動」「脇本タイム」「ICT活用」の充実</p> <p>2 学びの羅針盤活用など、子供の身に付けさせたい資質・能力を確実に育成する研究・実践の推進</p> <p>3 学年や個に応じた学業指導の共通理解と指導の徹底</p> <p>4 小中一貫教育、小学校一部教科担任制導入による指導体制と方法の工夫</p> <p>※ R5、6小学校高学年教科担任制実践研究モデル校</p> <p>5 家庭学習の習慣化を目指した家庭との連携充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 研究授業及び研究公開等の成果、「北薩の授業づくり3ポイント」、学習の深化を促す「対話活動」の実践、学習の定着を図る「脇本タイム」の確実な実践、学力向上アクションプランの共通理解・共通実践、ICTを活用した「個別最適な学び」や「協働的な学び」の実践、低学年における多層指導モデル（MIM）の実践 ○ テーマ研修による研究や一人一研究授業による授業力向上、教育の専門職としての自覚と意識の高揚 ○ 「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性」育成のために <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ol style="list-style-type: none"> ① 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善 ② 子供の実態把握と学校教育目標による脇本小学校が目指す子供像の具現化 ③ 学習の広がりや深まりを見通す単元や題材の指導計画作成 ④ 習得・活用・探究の学びの過程で見方・考え方を働かせる授業の展開 ⑤ 互いの考えや表現を受容・尊重できる学級経営の充実 ⑥ 教児ともに学習の経過や成果が確認できる教室設営・学習環境の整備 ⑦ 全ての子供に有効な「ユニバーサルデザイン」「特別支援教育」の視点と展開 ⑧ 特性や目標・内容に応じ、基礎・基本の確実な定着を図る各教科の指導 ⑨ 子供たちの今を理解する諸調査等の分析とフィードバック ⑩ 学校と家庭で共に取り組み、授業と連動した家庭学習の充実と学習歴活用 </div> ○ 小中教員の乗り入れ授業、専科による授業（小・小連携含む）による学力向上 ○ 第二土曜日・チャレンジタイムによる読み・書き・計算等の基礎学力の向上 ○ GIGAタイムによるICT活用能力、情報活用能力の育成 ○ 各種学力調査等の結果分析、傾向把握と具体的対策の実施 ○ 「脇本っ子見届け週間」通信による課題とされた内容への適切な支援 ○ 家庭学習基本方針による「家庭学習の手引き」の見直し、家庭学習の定着、評価
生 徒 指 導	<p>1 めざす子供像に迫る生徒指導の充実（生徒指導提要に基づく発達支持的生徒指導）</p> <p>2 集団や社会の形成者としての見方・考え方を働かせる特別活動の展開</p> <p>3 読書指導の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 諸行事・学級活動や個別指導等での子供同士の協働的な交流や関わりによる、子供の自己肯定感や有用感、集団への所属意識の高揚・促進 ○ 月毎の生活目標の徹底、生活の決まりの意識化と実践及びスムーズな学校生活への移行を目指すスタートカリキュラムの実践 ○ KYT・安全マップを活用した、校内及び登下校中の安全確保 ○ 子供と職員のふれあい、教育相談（チャンス相談・定期相談）による児童理解 ○ いじめ、不登校等の未然防止、早期発見・早期解消へのアンケートの集計・活用 ○ 保護者、地域、関係機関・団体との連携及びSC・SSW等の積極的活用 ○ 個に応じた継続的指導を目指す幼・保・小・中・高連携とキャリア教育の推進 ○ 家庭と連携した情報モラル教育の充実、SOSの出し方教育の推進 ○ 児童会活動（委員会活動、代表委員会活動、集会活動）の主体的・計画的な実践 ○ SDGsを意識した海岸清掃や飼育・栽培活動等のボランティア活動の実践・継続 ○ 教科書音読、朝読書、家読の推奨、「トトロのへや」と連携した読書活動の推進 ○ 学習センターとしての図書室利用の推進、市立図書館・移動図書等の利用推進
健 康 ・ 安 全 ・ 体 育 指 導	<p>1 学校課題解決を具体化した保健指導・保健学習の充実</p> <p>2 体力・運動能力の向上</p> <p>3 安全指導の徹底</p> <p>4 食に関する指導の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学級活動における身近な生活の健康・安全に関する基礎的な内容の理解と実践 ○ 月毎の保健目標の意識化と実践 ○ 健康把握及び家庭と連携した治療促進と新生活様式による感染症予防教育実践 ○ 喫煙・飲酒等を含む薬物乱用防止教育の実践・充実 ○ がん教育を含む病気予防及びアレルギー等の研修と対応マニュアルの整備 ○ 教科体育、「しおかぜ体育」の充実と「チャレンジかごしま」等記録に挑戦する体力づくりへの個別指導、運動の日常化、PTAと連携した外遊びや運動機会の奨励 ○ 学校内外の安全点検、環境保全、安全指導の徹底 ○ 家庭や地域と連携した通学路等の安全点検及び交通安全・水難事故防止等の徹底 ○ 交通安全教室や避難訓練の計画的推進、各種マニュアルの見直し ○ 学校給食を指導教材とした各教科や総合的な学習の時間、特別活動等の展開 ○ 家庭と連携した「早寝早起き朝ごはん」国民運動への取組と食育の推進
道 徳 教 育	<p>1 道徳的判断力と心情を育む授業実践</p> <p>2 実践への意欲と態度を育てる教育活動の展開</p> <p>※ 令和5年度北薩地区道徳教育研修会会場校（6月）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 道徳教育の重点目標、重点内容項目の明確化と、重点内容項目に関わる具体的な指導の機会、時期の明確化等カリキュラム・マネジメントの実践 ○ 道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てるICTを効果的に活用した指導の研究及び共通実践、研究成果の公開 ○ 特別の教科道徳の特質を捉えた明確な指導観による授業実践と、学級活動・児童会活動・学校行事等、特別活動との連携 ○ フリー参観等を活用した保護者や地域住民の道徳授業への参加・協力態勢の推進

人権教育	<ol style="list-style-type: none"> 1 学力向上, 生徒指導等の教育課題の解決を図る人権教育の推進 2 諸調査及び相談事業等を活用した子供の実態把握 3 人権感覚を涵養する教職員研修の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 個に寄り添う学習指導, 生徒指導の充実による, 全ての人権教育の成立基盤としての教育・学習環境の整備 ○ Mom「見つめる」「思いをめぐらす」「向き合う」の基本姿勢による児童理解 ○ いじめアンケートや学校楽しいーと等の実施による実態把握と, 人権週間等を活用した自尊感情の育成と人間関係づくり(児童集会, 標語作成等) ○ あらゆる場面を捉えた研修と人権教育資料(「なくそう差別築こう明るい社会」「仲間づくり」)等の活用と参加型学習による教職員研修の充実
特別支援教育	<ol style="list-style-type: none"> 1 個に応じた指導による特別支援教育体制の整備・充実 2 適正な教育支援の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「個別の指導計画」「個別の教育支援計画」「移行支援シート」の作成, 評価・改善 ○ 保護者と共に情報を共有する「移行支援シート」による進学先への丁寧な引継ぎ ○ 交流及び共同学習の充実によるインクルーシブ教育システム構築 ○ 保護者との日常的な情報交換による教育相談及び進路支援 ○ 特別支援学校との連携による巡回相談, 教育相談, 居住地校交流の推進 ○ 適切な教育支援と教育支援委員会の機能化
郷土教育	<ul style="list-style-type: none"> ○ 郷土の自然や歴史・文化の学習を通じた, 郷土を愛する心の育成と情報発信・交流の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 郷土の自然環境や歴史・文化等の社会環境, 人材等の教材化 ○ 自然や地域人材を活用した特色ある教育活動の推進と情報発信 ○ 「かごしま検定」の受検や職員研修での活用 ○ 「脇小百年」「わたしたちの阿久根市」「郷土が誇る偉人たち」(市教委)「ふるさと心」「郷土の先人」(県教委), 寺島宗則卿の旧家・紙芝居等郷土教育資料の活用 ○ オンライン連携姉妹校(北海道えりも小学校)との交流
教育環境整備	<ol style="list-style-type: none"> 1 学校環境の整備・美化の推進 2 花いっぱい学校, 緑化活動の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「そうじ訓」による教児一体清掃の徹底と整理整頓 ○ 学校, 学年掲示板等を有効活用した施設等の環境の美化・整備の徹底 ○ 市教育委員会及びPTA等と連携した施設・設備の整備・充実 ○ 「緑の日」の年間計画に沿った全職員・全児童による計画的な緑化・栽培活動 ○ 一人一鉢, 学級園・教材園栽培活動による豊かな心の醸成
総合的な学習	<ol style="list-style-type: none"> 1 地域の歴史, 自然環境など課題を探究する活動の充実 2 他の教科・領域との横断的・総合的な学習の充実 3 G I G Aスクール構想に適應したI C T活用能力育成 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 伝統芸能伝承活動や地域文化に関する教育の充実と, 子供の関心, 地域の実態, 学年・校種間のつながりを考慮した適切な課題の設定 ○ SDGsの視点からの資質・能力の捉え直しと, 目標情報収集, 整理・分析, まとめ・発表活動等, 探求的な学習とするための学習過程の工夫 ○ 歴史・自然等地域素材の教材化と地域の人材活用, 教育課程への位置付け及び体験的・問題解決的な学習及び多様な学習形態の展開 ○ 環境教育の充実, プログラミング教育を含む情報活用能力の育成とキャリア教育の推進 ○ 一人一台端末と高速大容量通信を活用した創造的な授業の推進(遠隔授業含む)
研究推進	<ol style="list-style-type: none"> 1 確かな学力の定着を目指したテーマ研究の推進 2 個の力を高める個別研究を推進・深化 3 外国語活動への対応及びI C T活用推進を図る職員研修実践 4 小・小, 小・中連携の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全職員による課題の共有化, 共通実践による研究の深化と研究成果の公開 ○ 系統性・発展性を重視した小・中連携の在り方, キャリア教育の研究・推進 ○ 外部講師招聘による指導方法改善研究, 一人1回以上の研究授業の実践とまとめ ○ 研究教科・領域, 分野等, 個々に焦点化した研究実践及び実践記録作成 ○ 短期研修や各種研究会等への参加と研修の還元と新「かごしま教員等育成指標, かごしま県教員等修計画」を基にした研修履歴の蓄積 ○ 授業力向上のための他校との連携(パワーアップ・ステップアップ研修等) ○ 外国語活動, プログラミング教育等社会の変化に対応した教育の推進 ○ 小・小連携, 小・中連携のための教職員による相互授業参観及び研究会の実施 ○ Zoom, ロイロノート, Google, 遠隔授業等の基本技術習得のための職員研修充実
学校事務	<ol style="list-style-type: none"> 1 適正な庶務・会計執行 2 教育効果を向上させる施設設備・備品等の管理 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 報告・連絡・相談・確認による適切な事務処理, 相互チェック機能の日常化 ○ 個人情報の厳正な管理, 金銭の適切な取扱い, 諸帳簿の適正な処理 ○ 施設設備・備品の有効活用と管理, リサイクル活動の推進 ○ 「阿久根北執務室だより」等を活用した事務内容の手順・方法理解による事務の効率化・効率化, 阿久根北共同実施協議会との連携
三者連携	<ol style="list-style-type: none"> 1 地域の歴史や環境, 伝統文化, 地域人材への理解と活用 2 地域文化の核としての情報発信・収集 3 生徒指導の充実を図る, 関係期間との連携 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 40周年を迎える「山田楽」を基軸とした伝統文化の継承・発表活動の推進 ○ 学級PTAの計画的な運営, 地域PTA・子ども会活動等への積極的な参加 ○ 学級だより, 学校だより, ホームページ, ブログ, 各種投稿による情報発信 ○ 学校運営協議会等による学校教育活動への提言の場の設定と協働的な取組 ○ 阿久根警察署, 脇本駐在所, 区長, 保護司, 民生委員, 家庭相談員, 少年補導員, 三笠中学校, 子ども会役員と連携した情報共有のためのネットワークの構築・活用
業務改善	<ol style="list-style-type: none"> 1 業務改善の推進 目的: 学校における働き方改革を通じた教育の質の維持・向上 ※ 正規の勤務時間を超える勤務は月45時間以内 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 1Action, 1Tryの取組の継続, 深化(簡素化, 効率化, 意識化) ○ 業務の分担見直しや校内LAN活用等による業務の効率化と事務の負担軽減 ○ 「チームとしての学校」の体制づくり, 外部人材等の連携・協働による負担軽減 ○ 教材の共有化, I C T機器の活用等による授業準備の効率化と時間確保(校務支援システム, シースマイル, マチコミ, チームズ, Zoom, フォーム等の有効活用) ○ 各種委員会の計画的実施と日課表, 行事の改善, 職場のウェルビーイングの向上

